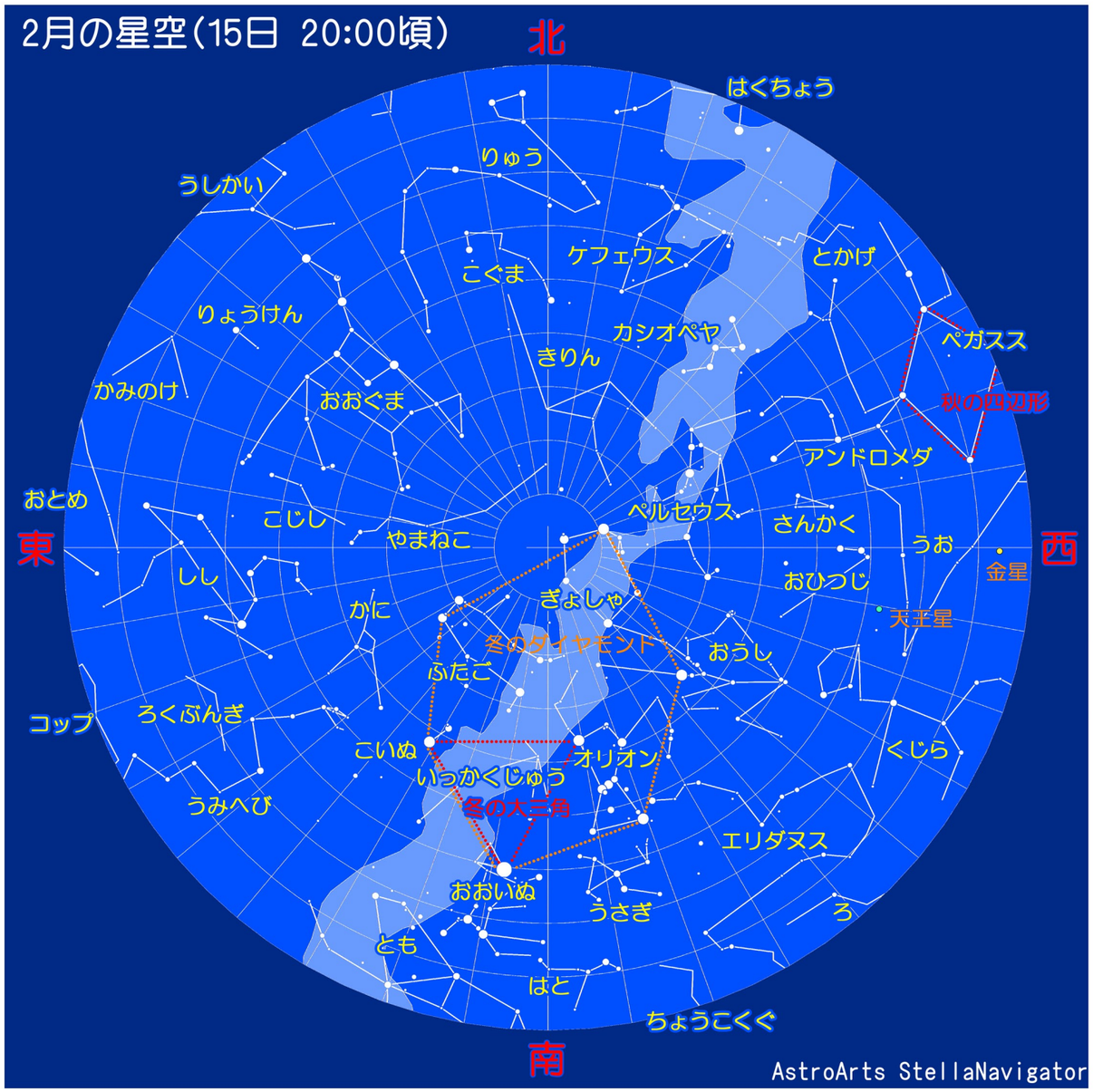
銀河の森天文台
2020年2月みどころ天体情報



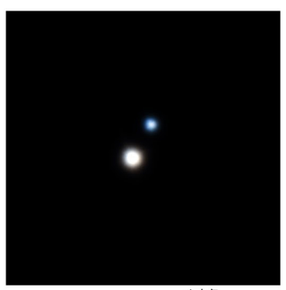
今月のイチオシ！

☆かに座ι（イオタ）

　かに座の右のはさみのところに輝く二重星です。黄色い４等星と、白い６等星のペアで、小型の望遠鏡でも二つの星が並んだ様子を見ることが出来ます。

　夏のアルビレオ、秋のアルマク、とならび色の対比が美しい二重星として有名で、冬の終わりから春にかけてが見ごろとなります。

距離：約298光年


かに座ι（イオタ）

月

		出	没
2日	◐上弦	10:38	--:--
9日	○満月	16:30	06:40
16日	◑下弦	00:06	10:26
24日	●新月	06:44	17:34

天文台から月を見ることができるのは1～9日頃、と26～29日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M42（散光星雲）

　オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの４つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

M82（銀河）

　おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と同一視野に見ることができます。スターバースト銀河と呼ばれる、非常に活発な星形成が行われている銀河です。

距離：約1200万光年

M37（散開星団）

　ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

NGC2392（惑星状星雲）

　ふたご座に位置し、毛皮のフードを被ったような姿から「エスキモー星雲」と呼ばれています。わずかに緑がかった青色が印象的で空の条件が良ければ愛称の由来となったフードのような構造も見えてきます。

距離：約1360光年

シリウス（恒星）

　おおいぬ座の１等星シリウスは、全天で一番明るい恒星です。ベテルギウス、プロキオンとともに、冬の大三角を形作っています。

　シリウスは実視連星で白色矮星を伴っています。

距離：約8.6光年

うさぎ座R星（恒星）

　クリムゾンスターと呼ばれ、非常に赤い色をしています。

　この星は炭素を多く含んでいる炭素星で、そのために通常の星よりも赤く輝いています。

距離：約817光年

ちょっとマニア

・冬の天の川

　冬の天の川は、天の川の中でも星が少ない部分であるため、とても淡く光害の少ない暗い夜空でなければ見ることが出来ません。

　左の星図を参考にして、冬の天の川を探してみましょう。

その他おすすめ

- M1（超新星残骸）
- M44（散開星団）
- M45（散開星団）
- M78（散光星雲）
- M81（銀河）
- NGC2261（散光星雲）
- ベテルギウス（恒星）
- カストル（重星）

2・3月の銀河の森天文台カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日